

■2011,2012年とディスプレイをSTYLEで取り上げて来たが、今年は仕様に関する提案の方が、新しい物の傾向が強かったので、この点についてまとめてみたい。一番多かったのは、トリミング手法。素材や色を変えたり、敢えてバイピングに不釣り合いな大柄の生地を使ったりと、自由な発想によるアレンジが多かった。また、リボン表現は繊細で細い物が、可愛らしく新鮮に映った。

トリミングスタイル

ラグのフサ部分に、本体と全く異なったカラーを用いている所が新鮮。また、クッションにトリミングの手法が多く、取り入れられている。シェードでの展開もアールデコのイメージが出て面白い。



リボンアクセント

細いリボン使いが今年流。繊細で華奢なものを、数本まとめて使っている物に引かれる。皮革に使われているケースも多い。



カットテクニック

今年は特にレトロ感のあるカットガラスが多かった。輝きのあるプロダクトは、今後も増える傾向にあると思う。



コンパクト・スタッキング

海外でもコンパクト的志向が、一般的になっている様に感じる。重ねた時、組み立てた時の楽しさまで計算されている所がオシャレ。



ステッチワーク

繊細なステッチワークが新鮮。この手法にも職人技を感じるものが多い。



今年で4回目となるデコオフ
Textile, Trimmings, Carpet, Furniture,
Light Fittings, Wallcovering, Accessories を
取り扱う 67社が参加した。

Saint-Germain-des-Prés と mail に多くの
ショールームが集まり (移転等もあり)
この2カ所に行けば出展会社の80%程度
を見る事が可能。
今回は mail に大きなランプシェードが
吊られデコレーションされていた。

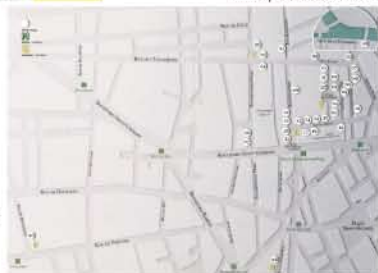
www.paris-deco-off.com



↑mail通りのデコレーション

↑オレンジ系のカラーが目立っている

Saint-Germain
des-Prés
周辺



↑ジオメトリックパターンのバリエーション

rue de mail
周辺



↑控えめな装飾や、新作トリミングが多くなっている

デジタルプリントは、今年も多く見受けられた→